

令和8年度周南サポート事業 申請書（製造部門）

令和8年 月 日

公益財団法人周南地域地場産業振興センター 行き

令和8年度周南サポート事業について、下記のとおり申請します。

【 ものづくり・事業加速 枠 】

事業名(テーマ名)	『 AIによるOCRを活用した図面管理の高度化及び、業務効率化 』		
事業者の名称	(株式会社 地場製作所)		
代表者氏名	(代表取締役 地場 太郎)		
事業者の住所	(〒〇〇〇-〇〇〇〇 周南市〇〇〇)		
電話・FAX	TEL (〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇)	FAX (〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇)	
メールアドレス	(〇〇〇 @ 〇〇〇〇〇)		
事業担当者・連絡先	担当者(産業 一郎)	連絡先(携帯)(〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇)	
資本金、従業員数	資本金 (1000 万円)	従業員(パート含む) (30 人)	
会社概要 業務内容	(設立 2002 年) 機械加工業 産業用機械部品メーカー		

① 事業の内容（試作・研究、商品化、収益増加に向けてチャレンジしたいこと 等）

当社は産業機械メーカーへ納める部品の製作が主な事業であり、少量多品種の体制をとっている。現在はそういった部品の図面を紙で残し、書庫に保管している。場合によっては製作する際に、書庫から図面を取り出しているが、蓄積してきた膨大な図面の中から探し出す必要があるため、業務にロスが生じている。

そこで、本事業で AI、OCR 技術を搭載した図面管理ソフトを導入し、類似部品の検索や見積もり製作の時間短縮など業務の効率化を図りたい。

また管理の手間の増大や時間的余裕のなさから敬遠していた新規取引先の獲得にもつなげたい。

② 事業の目標(本年度どの段階までを目標とするか 製品化しているものは売上目標、新規取引 等)

図面管理ソフトを導入することで、見積もり製作などの実際の製作以外の業務や、次工程への受け渡し、情報伝達等にかかる時間を短縮し、業務効率化と新規取引先の獲得を目指す。

リードタイム:30%の低減

新規取引先:1社以上

③ 事業の課題

当社の実情に合ったソフトを導入したいがどれか良いか検討中。
(予算書には現在当社で第一候補としているソフトの見積もり金額を記載)

④ 周南地場センターにサポートを要望する部分

ソフト選定、ソフトの使用料(今年度分)の支援

< 申請受理後、予算書をダウンロードして提出してください。>